

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月11日
【四半期会計期間】	第12期第2四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	アルフレッサ ホールディングス株式会社
【英訳名】	Alfresa Holdings Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 石黒 傳六
【本店の所在の場所】	東京都千代田区大手町一丁目1番3号
【電話番号】	03 - 5219 - 5100
【事務連絡者氏名】	取締役専務執行役員 財務・広報IR担当 三宅 俊一
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区大手町一丁目1番3号
【電話番号】	03 - 5219 - 5100
【事務連絡者氏名】	取締役専務執行役員 財務・広報IR担当 三宅 俊一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第11期 第2四半期連結 累計期間	第12期 第2四半期連結 累計期間	第11期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高 (百万円)	1,221,909	1,173,994	2,504,504
経常利益 (百万円)	16,682	14,218	44,561
四半期(当期)純利益 (百万円)	9,730	9,204	25,566
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	9,039	17,265	26,807
純資産額 (百万円)	290,389	323,937	305,436
総資産額 (百万円)	1,112,772	1,146,003	1,169,546
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	43.96	41.15	115.51
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	26.1	28.2	26.1
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	54,447	15,723	27,507
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	7,571	10,659	21,769
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	4,272	4,162	8,643
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (百万円)	129,748	139,703	138,819

回次	第11期 第2四半期連結 会計期間	第12期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日	自平成26年7月1日 至平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	21.96	14.15

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。
4. 平成26年10月1日付で、普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。そのため、第11期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

平成26年7月31日、当社の完全子会社であるアルフレッサファーマ株式会社は、第一三共株式会社の完全子会社である第一三共プロファーマ株式会社の秋田工場の譲受けに関する基本合意書を締結いたしました。

また、平成26年9月29日、当社の完全子会社であるアルフレッサヘルスケア株式会社は、株式会社マツモトキヨシホールディングスとの間で、同社のグループ会社を会社分割して新設される一般用医薬品関連商品の卸売事業を行う株式会社茂木薬品商会の全株式を譲受する旨の株式譲渡契約を締結いたしました。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日～9月30日）におけるわが国経済は、デフレ脱却に向けた政府の経済政策により緩やかな回復を基調とするものの、消費税率引き上げに伴う需要の反動減に加えて、急激な為替変動や今夏の天候不順等による物価上昇が消費を下押ししたこと等により、前年同期と比較して成長率は鈍化したしました。

当社グループは、企業価値の増大に向けて、平成28年3月期を最終事業年度とする中期経営計画「13-15中期経営計画 変革への挑戦～次なる頂（いただき）を目指して～」に掲げた経営目標を達成するための取り組みを引き続き強化しております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は1兆1,739億94百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益は94億78百万円（前年同期比22.1%減）、経常利益は142億18百万円（前年同期比14.8%減）、四半期純利益は92億4百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

なお資本政策として本年9月30日を基準日として当社普通株式1株に対して4株の割合をもって株式分割を行い、投資単位あたりの金額を引き下げ、投資家の皆様がより投資しやすい環境といたしました。

各セグメントの業績については、次のとおりであります。

#### [医療用医薬品等卸売事業]

医療用医薬品市場では、今春の診療報酬改定により薬価が平均2.65%引き下げられた影響に加えて、後発医薬品調剤体制加算制度の改定や、DPC制度導入先医療機関における使用薬剤の見直しによって、後発医薬品への切り替えが進み長期収載品の売上が減少しました。さらに消費税率引き上げによる需要の反動減や今夏の天候不順により、受診抑制もみられました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の市場は3.4%のマイナス成長となりました（クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推定）。このような状況の下、当社グループは、業界の最重要課題である「流通改革」の定着に向けて、早い段階から仮納入・長期未受結の是正等に取り組んでまいりました。

事業基盤をより一層強化するため、本年4月に、篠原化学薬品株式会社（本社：高知県高知市 現在の商号：アルフレッサ篠原化学株式会社）を完全子会社とする株式交換を実施するとともに、本年10月より四国アルフレッサ株式会社（本社：香川県高松市）の診断薬卸売事業を同社へ移管いたしました。さらに中国エリアおよび北部九州エリアにおける医療用医薬品等卸売事業の経営資源を有効かつ効率的に活用するために、成和産業株式会社（本社：広島県広島市）と常盤薬品株式会社（本社：山口県宇部市）を来年4月に合併することを決定いたしました。

また、乳幼児のワクチン接種の安全性向上に貢献するために、アルフレッサ株式会社は医療機関様と乳幼児の保護者様を対象としたワクチン接種スケジュール管理システムの提供を開始し、本年8月にシステムの運営会社としてワクチン安全管理株式会社（本社：東京都千代田区）を設立いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1兆661億99百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益は87億53百万円（前年同期比22.3%減）となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高30百万円（前年同期比31.0%増）を含んでおります。

[セルフメディケーション卸売事業]

セルフメディケーション卸売事業におきましては、一般用医薬品、健康食品・サプリメント等の一部で消費税率引き上げに伴う需要の反動減がありましたが、利益率の高い専売商品へ販売を注力することにより、安定的な利益の確保に努めました。

本年8月、株式会社マツモトキヨシホールディングス（本社：千葉県松戸市）のグループ会社が会社分割して新たに設立した、一般用医薬品関連商品の卸売販売を事業とする株式会社茂木薬品商会（本社：東京都中央区）の全株式を本年10月1日付でアルフレッサヘルスケア株式会社が譲り受け、同社の持つ事業資産とノウハウの活用により本事業の一層の発展を目指すことにいたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は999億45百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は1億円（前年同期比384.8%増）となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高2億54百万円（前年同期比13.9%減）を含んでおります。

[医薬品等製造事業]

医薬品等製造事業におきましては、今春の薬価引き下げと消費税率引き上げに伴う需要の反動減の影響等を受けて、売上高が減少いたしました。

医薬品固形剤や体外用診断薬製品の生産量増大に対応するために、アルフレッサファーマ株式会社の岡山製薬工場（岡山県勝田郡勝央町）敷地内において新配送センターの建設を本年5月より開始いたしました。来年1月の稼働を予定しております。

また本年7月、第一三共プロファーマ株式会社（本社：東京都中央区）の秋田工場（秋田県秋田市）を来年4月1日付でアルフレッサファーマ株式会社が譲り受けることを基本合意いたしました。当社グループにとって初の医薬品原薬製造拠点として、高度な品質管理体制のもと安定的な製品供給を行い、製造事業の規模拡大と収益基盤強化をはかってまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は123億39百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は5億53百万円（前年同期比28.6%減）となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高42億5百万円（前年同期比6.0%減）を含んでおります。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して8億84百万円増加して、1,397億3百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果、増加した資金は157億23百万円（前年同期は544億47百万円の減少）となりました。これは、仕入債務の減少額500億57百万円、売上債権の減少額381億21百万円およびたな卸資産の減少額87億57百万円があったことに加えて、税金等調整前四半期純利益138億16百万円および減価償却費40億92百万円等によるものです。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動の結果、減少した資金は、106億59百万円（前年同期比30億87百万円増）となりました。これは主として、関西エリアの物流拠点再構築等をはじめ有形固定資産の取得による支出87億30百万円があったことや、投資有価証券の取得による支出15億25百万円があったことによるものです。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果、減少した資金は41億62百万円（前年同期比1億10百万円減）となりました。これは主として、配当金の支払額30億43百万円によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の総額は4億96百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	135,000,000
計	135,000,000

(注) 平成26年8月22日開催の取締役会決議により、平成26年10月1日付で株式分割に伴う定款の変更を行い、発行可能株式総数は405,000,000株増加し、540,000,000株となっております。

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月11日)	上場金融商品取引所名 または登録認可金融商 品取引業協会名	内容
普通株式	58,754,400	235,017,600	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数100株
計	58,754,400	235,017,600	-	-

(注) 平成26年8月22日開催の取締役会決議により、平成26年10月1日付で普通株式1株を4株に株式分割いたしました。これにより発行済株式総数は176,263,200株増加しております。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日 (注)	-	58,754,400	-	18,454	-	58,542

(注) 平成26年8月22日開催の取締役会決議により、平成26年10月1日付で普通株式1株を4株に株式分割いたしました。これにより発行済株式総数は176,263,200株増加し、235,017,600株となっております。

## (6)【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
アルフレッサ ホールディングス社員持 株会	東京都千代田区大手町1-1-3	1,698	2.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式 会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	1,377	2.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	1,324	2.25
ノーザン トラスト カンパニー (エイ ブイエフシー) アカウント ノン トリー ティー (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT, UK (東京都中央区日本橋3-11-1)	1,323	2.25
エーザイ株式会社	東京都文京区小石川4-6-10	1,150	1.95
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信 託 第一三共口 再信託受託者 資産管 理サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1-8-12 晴海アイラ ンドトリトンスクエア オフィスタ ワーZ棟	977	1.66
メロン バンク エヌエー アズ エー ジェント フォー イッツ クライアン ト メロン オムニバス ユーエス ベ ンション (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済 営業部)	ONE BOSTON PLASE BOSTON, MA 02108 (東京都中央区月島4-16-13)	893	1.52
福神 邦雄	東京都世田谷区	862	1.46
メロン バンク トリーティー クラ イアンツ オムニバス (常任代理人 株式会社みずほ銀行決 済営業部)	ONE BOSTON PLASE BOSTON, MA 02108 (東京都中央区月島4-16-13)	810	1.37
第一三共株式会社	東京都中央区日本橋本町3-5-1	800	1.36
計		11,217	19.09

(注) 1. 上記の信託銀行所有株式数のうち、信託業務に係る株式を次のとおり含んでおります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 1,293千株

日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 1,199千株

2. 当社は自己株式2,835千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

3. マラソン・アセット・マネジメント・エルエルピーから平成24年10月18日付で大量保有報告書の変更報告書 No. 4の提出があり、平成24年10月1日現在で3,937千株を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、これらの報告書の内容は、以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
マラソン・アセット・マネジメント・ エルエルピー	Orion House, 5 Upper St. Martin's Lane, London WC2H 9EA, UK	3,937	6.70

## (7)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,835,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 55,725,700	557,257	-
単元未満株式	普通株式 192,900	-	-
発行済株式総数	58,754,400	-	-
総株主の議決権	-	557,257	-

(注)「完全議決権株式(その他)」および「単元未満株式」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式がそれぞれ、700株および20株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数7個が含まれております。

## 【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
アルフレッサホールディングス株式会社	東京都千代田区 大手町1-1-3	2,835,800	-	2,835,800	4.84
計	-	2,835,800	-	2,835,800	4.84

## 2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）および第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	121,025	95,703
受取手形及び売掛金	604,144	566,088
有価証券	34,996	61,496
商品及び製品	128,367	119,433
仕掛品	650	672
原材料及び貯蔵品	1,902	2,056
その他	56,448	56,838
貸倒引当金	308	280
流動資産合計	947,226	902,009
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	36,475	36,020
土地	62,780	64,697
その他(純額)	11,211	15,456
有形固定資産合計	110,467	116,174
無形固定資産		
のれん	3,722	3,151
その他	5,662	5,090
無形固定資産合計	9,384	8,242
投資その他の資産		
投資有価証券	87,503	105,232
その他	19,351	18,479
貸倒引当金	4,387	4,134
投資その他の資産合計	102,467	119,577
固定資産合計	222,320	243,994
資産合計	1,169,546	1,146,003

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	799,280	749,222
短期借入金	848	493
未払法人税等	2,023	6,938
賞与引当金	7,386	6,156
その他	14,532	16,696
流動負債合計	824,071	779,507
固定負債		
長期借入金	636	997
退職給付に係る負債	17,405	16,576
その他	21,997	24,984
固定負債合計	40,039	42,558
負債合計	864,110	822,066
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	100,110	103,799
利益剰余金	159,954	166,508
自己株式	1,196	999
株主資本合計	277,321	287,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,113	40,170
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	4,341	4,341
為替換算調整勘定	137	107
退職給付に係る調整累計額	2	30
その他の包括利益累計額合計	27,911	35,967
少数株主持分	202	208
純資産合計	305,436	323,937
負債純資産合計	1,169,546	1,146,003

## (2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,221,909	1,173,994
売上原価	1,142,495	1,096,397
返品調整引当金戻入額	785	715
返品調整引当金繰入額	653	711
売上総利益	79,546	77,600
販売費及び一般管理費	67,379	68,121
営業利益	12,166	9,478
営業外収益		
受取利息	120	100
受取配当金	903	1,053
受取情報料	2,927	2,816
持分法による投資利益	-	51
その他	916	977
営業外収益合計	4,868	4,999
営業外費用		
支払利息	74	64
貸倒引当金繰入額	16	8
持分法による投資損失	111	-
不動産賃貸費用	58	62
製品自主回収関連費用	-	53
その他	91	71
営業外費用合計	352	259
経常利益	16,682	14,218
特別利益		
固定資産売却益	1	16
投資有価証券売却益	109	117
受取和解金	175	-
受取補償金	66	-
特別利益合計	352	133
特別損失		
固定資産売却損	44	47
固定資産除却損	165	121
減損損失	423	165
投資有価証券売却損	2	-
投資有価証券評価損	1	2
特別退職金	48	-
関係会社事業損失引当金繰入額	-	172
その他	97	26
特別損失合計	783	536
税金等調整前四半期純利益	16,251	13,816
法人税、住民税及び事業税	4,705	6,735
法人税等調整額	1,790	2,128
法人税等合計	6,495	4,606
少数株主損益調整前四半期純利益	9,755	9,209
少数株主利益	24	5
四半期純利益	9,730	9,204

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主利益	24	5
少数株主損益調整前四半期純利益	9,755	9,209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	798	8,057
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	82	29
退職給付に係る調整額	-	24
持分法適用会社に対する持分相当額	-	3
その他の包括利益合計	715	8,055
四半期包括利益	9,039	17,265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,014	17,260
少数株主に係る四半期包括利益	24	5

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	16,251	13,816
減価償却費	4,301	4,092
減損損失	423	165
のれん償却額	570	570
貸倒引当金の増減額(は減少)	107	280
賞与引当金の増減額(は減少)	638	1,230
役員賞与引当金の増減額(は減少)	114	178
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	84	26
退職給付引当金の増減額(は減少)	32	-
退職給付に係る負債の増減(は減少)	-	298
受取利息及び受取配当金	1,024	1,154
支払利息	74	64
固定資産売却損益(は益)	42	30
固定資産除却損	165	121
投資有価証券売却損益(は益)	106	117
投資有価証券評価損益(は益)	1	2
受取和解金	175	-
受取補償金	66	-
特別退職金	48	-
売上債権の増減額(は増加)	9,112	38,121
たな卸資産の増減額(は増加)	14,700	8,757
仕入債務の増減額(は減少)	63,621	50,057
その他	1,508	4,218
<b>小計</b>	<b>36,781</b>	<b>16,671</b>
利息及び配当金の受取額	1,024	1,143
利息の支払額	79	64
受取和解金の受取額	175	-
特別退職金の支払額	3	-
関係会社事業再編費用の支払額	-	40
法人税等の支払額	18,782	1,986
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>54,447</b>	<b>15,723</b>

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	229	544
定期預金の払戻による収入	206	236
有形固定資産の取得による支出	6,083	8,730
有形固定資産の売却による収入	60	110
無形固定資産の取得による支出	711	470
長期前払費用の取得による支出	10	9
投資有価証券の取得による支出	1,176	1,525
投資有価証券の売却による収入	294	315
貸付けによる支出	61	89
貸付金の回収による収入	140	76
その他	0	29
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>7,571</b>	<b>10,659</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	447
長期借入金の返済による支出	440	440
リース債務の返済による支出	1,226	1,118
自己株式の取得による支出	5	8
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	2,600	3,043
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,272</b>	<b>4,162</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	17
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	66,248	884
現金及び現金同等物の期首残高	195,996	138,819
現金及び現金同等物の四半期末残高	129,748	139,703

## 【注記事項】

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準またはポイント基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、期末日時点における従業員の平均残存勤務年数に相当する国債利回りに基づく方法から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が561百万円減少し、利益剰余金が393百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結子会社以外の会社の金融機関からの借入等に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
(有)コーフク商事	395百万円	H C L(株)	448百万円
(株)広島中央薬局	279	(有)コーフク商事	402
ファーマシーリンク(株)	75	(株)広島中央薬局	264
その他	47	ファーマシーリンク(株)	74
		その他	45
計	798	計	1,235

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
給与手当	23,459百万円	23,507百万円
賞与引当金繰入額	6,012	6,010
役員賞与引当金繰入額	100	106
退職給付費用	2,433	2,317
役員退職慰労引当金繰入額	24	33
福利厚生費	4,045	4,151
貸倒引当金繰入額	140	195
減価償却費	3,607	3,300
荷造運送費	7,907	7,839

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	86,420百万円	95,703百万円
有価証券勘定	60,494	61,496
預入期間が3か月を超える定期預金および譲渡性預金	17,166	17,496
現金及び現金同等物	129,748	139,703

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月9日 取締役会	普通株式	2,600	47	平成25年3月31日	平成25年6月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月5日 取締役会	普通株式	2,711	49	平成25年9月30日	平成25年12月5日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月9日 取締役会	普通株式	3,043	55	平成26年3月31日	平成26年6月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年11月4日 取締役会	普通株式	3,075	55	平成26年9月30日	平成26年12月5日	利益剰余金

(注)平成26年10月1日付で、普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。上記配当については当該株式分割前の株式数を基準に配当を実施いたします。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

．前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1．報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメ ディケー ション卸 売事業	医薬品等 製造事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,110,849	102,554	8,505	1,221,909	-	1,221,909
セグメント間の内部売上高または振替高	22	295	4,473	4,792	4,792	-
計	1,110,872	102,849	12,979	1,226,701	4,792	1,221,909
セグメント利益	11,268	20	776	12,065	101	12,166

(注)1．セグメント利益の調整額101百万円には、セグメント間取引消去3,001百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用2,900百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2．セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2．報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

・当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1．報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメ ディケー ション卸 売事業	医薬品等 製造事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,066,169	99,690	8,134	1,173,994	-	1,173,994
セグメント間の内部売上高または振替高	30	254	4,205	4,489	4,489	-
計	1,066,199	99,945	12,339	1,178,484	4,489	1,173,994
セグメント利益	8,753	100	553	9,407	71	9,478

(注)1．セグメント利益の調整額71百万円には、セグメント間取引消去3,034百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用 2,963百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2．セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2．報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## ( 1株当たり情報 )

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	43円96銭	41円15銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	9,730	9,204
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	9,730	9,204
普通株式の期中平均株式数(千株)	221,347	223,676

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 平成26年10月1日付で、普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

## ( 重要な後発事象 )

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## ( 株式分割 )

当社は、平成26年8月22日開催の取締役会において、株式分割を行うことを決議いたしました。

## 1. 株式分割の目的

投資単位当たりの金額を引き下げ、株式の流動性を高めることで、より多くの投資家の皆様に投資し易い環境を作ることを目的としております。

## 2. 株式分割の概要

## (1) 分割の方法

平成26年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を、1株につき4株の割合をもって分割いたしました。

## (2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	58,754,400株
今回の分割により増加する株式数	176,263,200株
株式分割後の発行済株式総数	235,017,600株
株式分割後の発行可能株式総数	540,000,000株

## (3) 分割の日程

基準日公告日	平成26年9月12日
基準日	平成26年9月30日
効力発生日	平成26年10月1日

## 3. 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響は、(1株当たり情報)に反映されております。

## 2【その他】

平成26年11月4日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (1) 中間配当による配当金の総額.....3,075百万円
- (2) 1株当たりの金額.....55円00銭
- (3) 支払請求の効力発生日および支払開始日.....平成26年12月5日

- (注) 1. 平成26年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行います。
2. 平成26年10月1日付で、普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。上記配当については当該株式分割前の株式数を基準に配当を実施いたします。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月11日

アルフレッサ ホールディングス株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 北川 健二 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 俵 洋志 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 桂木 茂 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアルフレッサホールディングス株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アルフレッサホールディングス株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途、財務諸表に添付される形で保管しております。  
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。